

令和2年5月17日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

令和3年9月期第2四半期累計期間連結業績の前年同期実績からの差異
 に関するお知らせ

当社は、連結業績予想を開示しておりませんが、令和3年9月期第2四半期累計期間(令和2年10月1日～令和3年3月31日)の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和3年9月期 第2四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利 益
前年同期実績(A) (令和2年9月 期第2四半期)	4,276百万円	△118百万円	△412百万円	△376百万円	△10.54円
今回発表業績(B) (令和3年9月 期第2四半期)	3,292百万円	266百万円	△73百万円	△149百万円	△4.17円
増減額(B-A)	△984百万円	384百万円	339百万円	227百万円	—
増減率(%)	△23.0%	—%	—%	—%	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、主に Digital Finance 事業において新型コロナウイルス感染防止政策による景気悪化などに伴って984百万円減少(対前年同期実績23.0%減少)の3,292百万円となっております。

営業利益につきましては Digital Finance 事業においては新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動抑制による費用削減に加え、コンテンツ事業の編集売上高やカードゲームのロイヤリティが好調に推移したこと等から、384百万円増加し266百万円(前年同期実績は118百万円の営業損失)の利益となりました。

経常利益は上記の要因等により339百万円増加し△73百万円(前年同期実績は412百万円の経常損失)の損失となっております。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記の要因等により、227百万円増加し△149百万円となっております。

以上